

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：アスク大和東保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：橋爪かおる	定員（利用人数）：70名（83名）	
所在地：〒242-0017 神奈川県大和市大和東2-7-11		
TEL：046-200-3501	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/ya-matohigashi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス		
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：11名	
専門職員	保育士22名、栄養士1名、調理員5名、事務職員1名	
施設・設備の概要	乳児室（0～2歳児室） 3室	事務室 1室
	幼児室（3～5歳児室） 3室	職員休憩室 1室
	沐浴室 2室	トイレ 5室
	調理室 1室	地域子育て支援室 1室
	軽量鉄骨造地上2階建て 延床面積 570㎡	園庭 266.12㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

「^{あす}未来を生きる力を培う」

自分らしく、生きる道を歩み、どんな時代にも対応できる資質と能力を培います。

【保育方針】

一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行うことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための、“生涯にわたる生きる力の基礎”を育みます。

- ・自ら伸びようとする力を支えます
- ・五感を養って感性を豊かにします
- ・後伸びする力を育みます

【園目標】

- ・健康で明るく元気な子
- ・素直な気持ちを表現し、自ら考え意欲的に活動できる子
- ・思いやりがあり、感謝する心を持つ子

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

アスク大和東保育園は、小田急線・相鉄線大和駅から徒歩7分、閑静な住宅街に位

置しています。近くには、市営のスポーツセンターや図書館、多くの公園があります。株式会社日本保育サービスが、2014年10月に開園して11年目の認可保育園です。園舎は軽量鉄骨造り地上2階建てで、園庭は266.12㎡あり、0～5歳児83名（定員70名）が在籍しています。

【園の特徴】

- 保護者と子どもの成長を共有できるように、親子交流会や夏祭り、運動会、生活発表会等の保護者が参加できる行事を年8回と多く開催しています。
- 外部講師による英語、体操、音楽の保育プログラムを実施し、子どもの楽しむ心や伸びる力、生きる力を育てています。
- 地域の子育て支援事業として、週1回園庭開放を行なうほか、地域の子どもや保護者と一緒に遊ぶ「ほかほかタイム」や育児講座、育児・栄養相談、一時保育を実施しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年8月1日（契約日）～ 2024年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期） *回数には今回を含まない	3回（2017年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 子どもの自発性の発揮を援助する保育

職員は、子どもの「やりたい」という気持ちを大切に、子どもが自分らしさを発揮し、達成感を持てるように援助しています。

2歳児のクラスでは、初詣に行けなかった子どもの意見を取り入れて「お参りごっこ」を行ったり、4歳児クラスでは、お店屋さんごっこでプレスレット等の小物屋さんをやりたいという子どもの思いを受け止めて、小物を制作したりしています。また、5歳児クラスでは、生活発表会の演目を子どもたちの話し合いで「金のガチョウ」と決め、背景画を貼り紙でお城にすることやお城の住人を自分たちにして似顔絵を貼ること等も、子どもたちが決めるようにしました。

2. 子どもに声かけする言葉を工夫する取組

園長は「笑顔あふれる園をめざす」という方針のもと、園児への声かけに用いる言葉を重視しています。

大和市すくすく子育て課の心理士等から、「待っててね」ではなく「10秒数えられるかな」などの言葉の言い換えを行なうようアドバイスを受け、年初に安全チェックリストに「言動について」の項目を追加し、毎月クラスで出来ているかを話し合っています。

また、声のかけ方について、「保育で使える言葉がけ」「子どもを育てる魔法の言い換え辞典」等の言葉かけの例が載っている本を使って勉強会を行なうとともに、「保育の専門職としてふさわしくない言葉の例」を保育室に貼り、常に意識しながら保育に取り組んでいます。

3. 子どもが食への関心を深める工夫

園に入ると、廊下の左壁に大きなスペースをとって、調理室の半日を紹介する「給

食ができるまで」「今月の産地」「テーマ野菜紹介」や「5つの味体験」等の食に関するお知らせが貼られ、子どもや保護者の食への関心を高めています。

また、年齢別に食育計画を作り、子どもたちが野菜を栽培して水やりや観察を行なうとともに、栽培した野菜を使ってクッキングを行なうなどの体験を行なっています。さらに、魚の解体ショーやエリンギの収穫等で実際の食材に触れたり、保育室に色々な野菜の写真や説明の入った資料を貼ったりして、子どもたちの食への関心を深めています。

◇今後期待される点

1. 子どもの地域社会への参加や自然と触れ合う機会を増やす工夫

子どもたちが地域社会を経験したり、身近な自然を体験できるよう散歩に出かける機会を増やすことが望まれます。

また、地域の行事や活動に子どもたちが積極的に参加できるような取組が期待されます。

2. プライバシー保護マニュアルの作成の検討

オムツ替えや着替え時等ではプライバシーに配慮した保育が行なわれていますが、子どものプライバシー保護に関するマニュアルを作成することが期待されます。

3. 具体的な達成目標を記載した事業計画の作成

実施内容の評価が行なえる具体的な達成目標を記載した中長期事業計画、ならびに、それを踏まえた単年度の事業計画を作成することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審するにあたり、各項目を職員と一つひとつ話し合い、協議を重ねまとめたことで、保育園の在り方や保育士としての姿勢など基本的で且つ最も大切なことに気づくことができました。評価機関の方々に実際の保育や園内環境を見ていただくことで私たちの取り組みを伝えることができました。また同時に、主体的に子どもたちが過ごすためにはどのような人的物的環境が必要であるかも考える切っ掛けにもなりました。

人権や虐待、不適切保育に関して力を入れていることも認められ、そのことが職員の喜びと自信にもつながりましたが、計画の立案はできているもののそれに対する振り返りの仕方について改善点があることも教えていただきました。

受審結果を職員全員で見直し良い点はさらに自信を持って行い、改善の必要がある点については早急に取り組みを進めてまいります。

職員の心身の健康が子どもたちや保護者の方々の笑顔につながると信じ、「保育園楽しい、明日もまた行きたい」と思ってもらえるよう、丁寧な保育・子どもたちの気持ちに寄り添った保育を心掛けていきたいと強く感じます。

評価機関の方々には、長い期間にわたり、自園の取り組みに関し評価・提言をいただきありがとうございました。また、保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

アスク大和東保育園 橋爪 かおる

⑧ 第三者評価結果 別紙2のとおり